

道 -ROAD-

大阪学芸中等教育学校
校長室だより

新型コロナウイルスの3つの顔

8月に入り梅雨明けの猛暑が続いています。早朝より蝉の大合唱です。

コロナ禍の中でスタートした令和2年度も、本日、無事に1学期の終業式を迎えることができました。ここまで生徒の皆さんが、マスクの着用や手洗い、ソーシャルディスタンスの確保など、「新しい生活様式」を心掛けてくれ、感染防止に協力してくれました。ありがとうございます。

新型コロナウイルスの感染拡大は、大阪府でも高い水準で感染者が報告され、確実に広がりを見せています。感染経路不明の増加から、市中感染の広がりが指摘されています。誰もがいつ感染しても不思議でない状況です。「With コロナ」という言葉通り、これから先も一緒に生きていかなければなりません。まず、「新しい生活様式」を引き続き徹底していくことが大切です。

今日の終業式で話をした内容です。日本赤十字社が広く発信しているのですが、「新型コロナウイルスには3つの感染症という顔があり、そして、知らず知らずのうちに私たちも影響を受けている」というのです。

第1の感染症は「病気そのもの」です。＜生物学的「感染症」＞

感染すると重症化して肺炎を引き起こすことがあります。

第2の感染症は「不安や恐れ」です。＜心理的「感染症」＞

ウイルスに目に見えません。ワクチンや薬もまだ開発されていません。そのため、私たちは強い不安や恐れを感じることがあります。不安や恐れが心の中で膨らみ、優しさや思いやりの気持ちが弱くなり、人から人に伝染するのです。

第3の感染症は「偏見・差別」です。＜社会的「感染症」＞

ウイルスに関する情報に振り回され、「あの人は咳をしているからコロナに間違いない」「熱があり体がだるいけど、差別されるから黙っていよう」と考えたりすることです。

病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が病気の拡散につながります。未知のウイルスから「不安」が生まれ、その不安が社会全体に広まって、「偏見・差別」となります。新しい病気で不明な要素が多いため、どうしても不安が高まります。不安はストレスになり、自己防衛本能が働き、自分の心と体を守ろうとして、見えない敵（ウイルス）の代わりに他の「誰か」を排除すべき存在と認識するそうです。

こうして「偏見・差別」が生まれてしまい、さらに偏見は他の不安要素を引き寄せる可能性が高くなるそうです。この悪循環を断ち切るためには、不安に乗っ取られないよう、**正しい判断・行動をして欲しい**と思います。私たちが立ち向かうべきものは「新型コロナウイルス」であり、感染してしまった人ではありません。この**負のスパイラルを断ち切りましょう**。

いよいよ、明日から夏休みが始まります。まずは、感染予防を第一に生活をしてください。学期中と同じように毎日の検温、健康チェックを続けてください。また、熱中症対策にもしっかり取り組んでください。色々と制約の多い夏休みですが、約2週間、時間を有意義に使いましょう。

【お知らせ】

1. 本日視聴した動画は次の2本です。（日本赤十字社）
 - ①新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう [動画はこちら](#)
 - ②ウイルスの次にやってくるもの [動画はこちら](#)

2. 学園の定める休日は8月11日（火）～17日（月）です。

※休日における連絡先 080-4709-9337（コロナ専用）川村教頭